



田野 香織



山本 のゆり

# いながわ 特派員報告

新年、明けましておめでとうございます。  
皆様、年末年始はいかがお過ごしでしょうか。  
お餅やおせち料理に箸も進み、厳しい寒さについつい屋内にこもりがちなお正月。ちよつと足を伸ばしてみませんか。  
今回は散策やウォーキングにうってつけの、楽しい散歩道をご紹介します。

猪名川町内に、三カ所設けられた「彫刻の道」をご存知でしょうか。一つ目は日生中央駅から松尾台を通って、町役場へ至る道。二つ目は日生中央駅の北西から、伏見池公園へ続く道。三つ目は多田銀銅山悠久の館から金山彦神社へ至る道です。それらの道沿いや途中の広場、木陰に置かれた石彫は、雨風に磨かれ、あるいは苔むし、道端の道祖神、お地藏さまのようにさりげなくたたずんでいるのです。作風やサイズも様々なこれらの作

## 愉快的石彫たちの道

品は、鈴木政夫さんという石彫家お一人の手によって制作されました。その数なんと170余点。  
**日本の風土に調和するまじづくりを**  
鈴木政夫さんは愛知県出身の彫刻家です。石の加工を生業とする家に生まれ、長じて殆ど独学で彫刻家となりました。平成14年に85歳で亡くなりになるまで、花崗岩を使っていた皆さんの石彫作品を残されましたが、中でも猪名川町の彫刻の道は最大級の展示数です。広島県福山市、宮城県仙台市にも同様の作品群

を見るができます。  
生前の鈴木さんは、「日本には日本にしかない風土がある。住民サイドの日常性のないものは受け付けない」とおっしゃられています。彫刻は人の手によって配置されたものですが、それらに感じられる温かみ、さりげなさは日本の風土や自然に対する鈴木さんの敬意の現れなのでしょう。  
どこかとぼけてユーモラスなたたずまいは、昔話に出てくるいたずら好きの妖精のよう。歩く道すがらに彫刻を探し見つけるのも楽しいですね。

# おすすめ散歩道「彫刻の道」

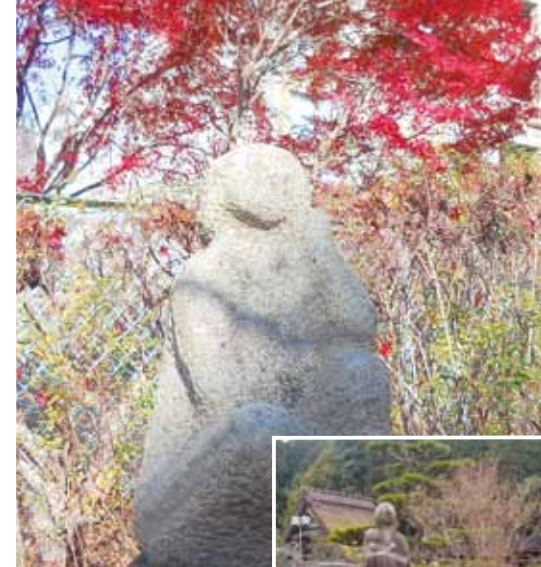


**彫刻の道（ルート概要）**  
■ 日生中央駅 ~ 町役場  
■ 日生中央駅北西 ~ 伏見池公園  
■ 多田銀銅山悠久の館 ~ 金山彦神社



町スポーツセンターの笹裏所長に、ウォーキングの極意をお聞きしました。  
「仙骨（骨盤の中心）にあり、背骨を支えている骨」に背骨を乗せて、きれいな姿勢を保ちましょう。  
歩く時はヒジを後ろに大きく引く張ることで背中の筋肉が動き、より活動量が上がります。加えて肝心なのが、筋肉に

## 運動には負荷が大切



負荷をかけることです。例えば信号待ちの時に踵の上げ下げやスクワットをするとか。筋肉の量というのは年々減少していきますから、ウォーキングだけでは筋肉の強化にはつながりにくいのです。  
また、高齢になると向こう脛の筋力が弱ってきて、つま先が上に上がり、すり足のような歩き方をするようになります。そうすると転倒しやすくなるのです。  
歩く時は踵を前に出し、つま先を上げる、そして踵から着地。これを意識するだけでずいぶん違います。  
運動の後のストレッチも忘れずに。翌日の疲労がかなり軽減できます」

## 木喰仏を想わせる日本の心

町観光ボランティアガイド会長の近藤勝さんに、彫刻の道についてお話を伺いました。  
「春から秋に鉄道沿線で実施する観光あるきツアーに彫刻の道が盛り込まれています。日生中央駅から、静思館、銀山を越えて道の駅へ行くコースで、徒歩で10〜12kmくらいでしょうか。所々で多くの彫刻に出合えます。  
鈴木政夫さんの作品は、どこか木喰さんを想わせる、なんとも和やかなものを感じますね。  
ふと石像に気づいたときに、あれ、こんなところに前からあったかな?と驚いたりするのがまた魅力の一つですね」

## 朝、彫刻の道を通られる皆さんにインタビュー

スポーツウェアで颯爽と歩く60代の男性は、「毎日歩いてます」とのこと。  
◆ここが彫刻の道というのはどこで知りましたか?  
「もちろん知ってます。みんな知ってるんじゃないの?」  
◆近隣にお住まいの人はよくご存知なんですね。ウォーキング歴はどのくらいですか?  
「2年前にリタイアして、それからです。毎日30〜40分歩きます」  
別の日に小雨の中、傘をさし

て散歩中だった年配の男性は、「毎日散歩しています。家は伏見台ですが、彫刻の道をたどって町役場まで行ったりもしますよ。健康のためにですが、カメラをポケットに入れて、花を撮ったり彫刻を撮ったりね。春になると、緑の中に彫刻があつていいですな。」  
たまに彫刻の周辺をもうちよつとキレイにして欲しいなと思うことがあります。ごみとか置いてあったりしてね、私らにとつては宝やからね」



◆彫刻の道のパンフレットは? 産業観光課、日生・六瀬連絡所、図書館、文化体育館などの公共施設にあります。詳しい地図と彫刻の配置図が掲載されていますので、散策の際にご利用ください。  
◆第41回彫刻の道マラソン大会 2月9日(日)に、「彫刻の道」を舞台に、住民手づくりのアットホームなマラソン大会を開催します。詳しくは、生涯学習課(☎767・2600)、または町ホームページをご覧ください。

編集後記 ー ここに、あそこに、その向こうにも、ユーモラスな彫刻があるなんて今まで気がつかなかったのですが、一度姿を認めてしまつと石像たちの存在感は圧倒的でした。猪名川町の素晴らしい財産ですね!

## 福田町長がケーブルテレビで ふるさと応援寄付金を紹介

▼12月3日、福田町長といなぼうがケーブルテレビのスタジオを訪れ、猪名川町が推進している「清流猪名川ふるさと応援寄付金」の紹介をしました。

キャスターとのトークを楽しみながら、猪名川町の魅力やいただいた寄付金の使われ方、町外の寄付者へ贈る特産品などについて説明し、応援寄付金の呼びかけを行いました。



## ふるさと館でこんにやく作りを体験

▼11月17日、ふるさと館でこんにやく作り講座が開催されました。

こんにやく芋を洗うところからこんにやくができていくまでの一連の作業を、子どもから大人まで夢中になって楽しみ、自分たちで作ったこんにやくをおいしくいただきました。



## 楊津小学校で 動物とのふれあい体験学習

▼12月6日、楊津小学校に移動動物園が訪れました。子ども達はポニー、ひつじ、うさぎ、モルモットなどの動物とふれあい、「ひつじの毛に指が埋まる」「キューキュー鳴いてかわいい」などの歓声をあげ、普段ふれることのできない動物との貴重なひと時を過ごしました。



## 保育園の避難訓練に イナショー 45「炎」が登場！

▼12月12日、保育園の避難訓練で、イナショー 45「炎」による防火啓発が行われました。突如現れたヒーローに、園児たちは大興奮しました。



## うさちゃんクラブ修了式

▼12月5日、社会福祉会館でうさちゃんクラブの修了式が行われ、福田町長より修了証書などが渡されました。総勢103人のクラブ会員は「わたしは かならずとまります」をスローガンに掲げ、交通安全の大切さを学びました。



## バララット市より高校生が来町！

▼姉妹都市バララット市で日本語スピーチコンテストの成績が優秀な高校生2人が来町し、12月2～12日の間町内に滞在しました。

滞在期間中は、猪名川高校や町立小・中学校での生徒たちとの交流、各施設の見学やそば打ち体験など、多くの人とふれあい、本町について理解を深めました。



## 大島小学校でおもちつき大会

▼12月14日、大島小学校で餅つき大会が行われました。

参加者は用意された餅米45kgでぜんざいや雑煮などを作り、みんなでおいしくいただきました。



## 笑顔いっぱい！お菓子の家づくり

▼クリスマスも近づいてきた12月7日、放課後子ども教室「こどもパークつつじが丘」による「お菓子の家づくり」が開催され、多くの親子連れで賑わいました。あま〜いお菓子の香りが部屋いっぱいに広がる中、参加した親子は用意された色とりどりのお菓子を個性豊かに組み合わせ、お菓子のお家づくりを楽しみました。



## 寄せ植えて新春の準備

▼12月11日、静思館で年末恒例の「寄せ植え講習会」が文化協会主催で行われました。参加者は、指導者による基本の配置を参考にしながらも、工夫を凝らし、自分で作る寄せ植えを楽しみました。



## 道の駅いながわで新そばまつり



▲▶11月30日・12月1日、道の駅いながわで「新そばまつり」が開催されました。新そばの手打ち・実演販売を始め、新そば雑炊の振る舞い、合鴨の串焼きや新鮮野菜・海産物の販売など、訪れた人々は猪名川町の冬の味覚を堪能しました。



明けておめでとうございませう！  
今年もばくと猪名川町をよろしくお願ひします！  
いなぼう